

平成31年2月15日

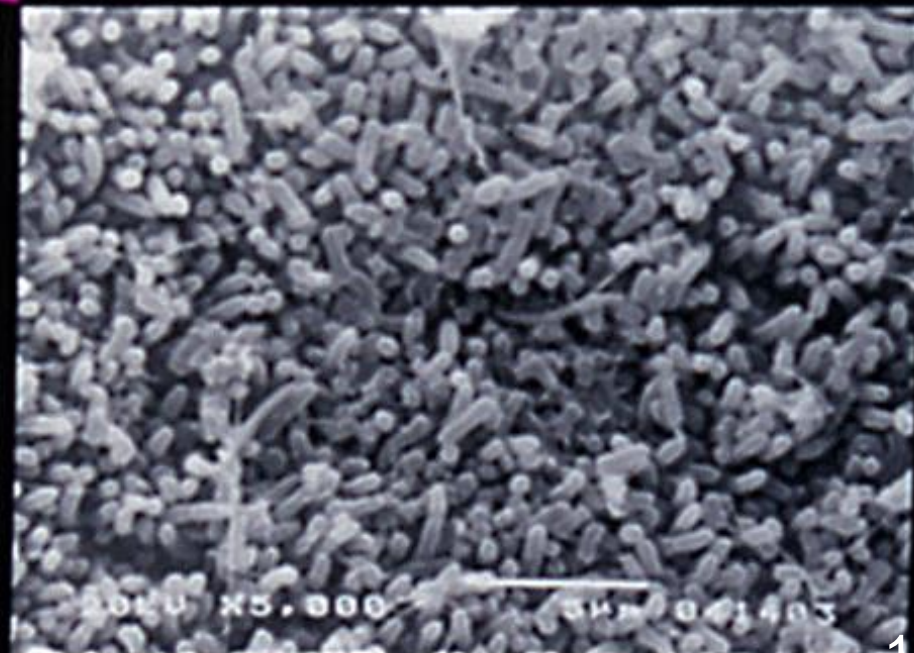
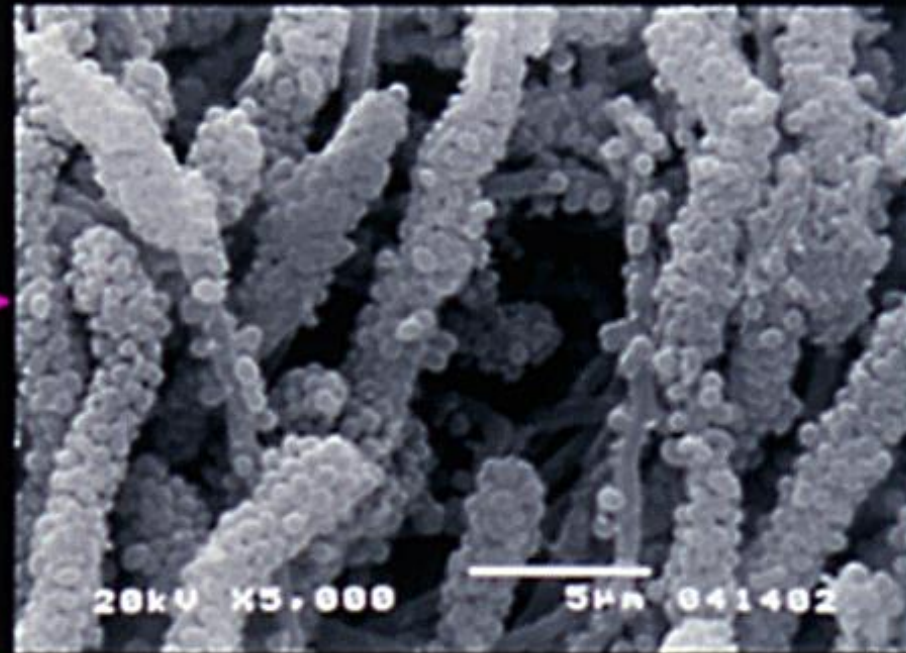
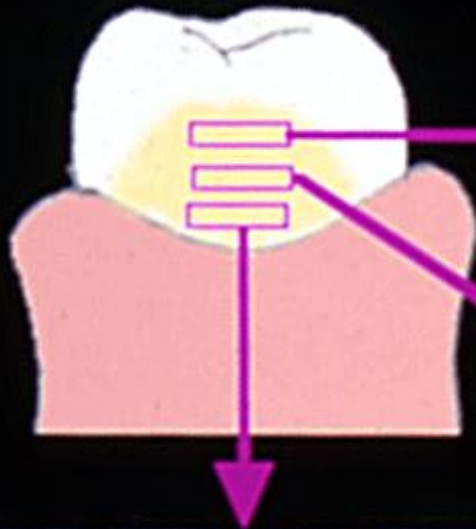
第3回 歯科口腔保健の推進に係る
う蝕対策ワーキンググループ

参考人提出資料2

むし歯は感染症 —その病態と治療—

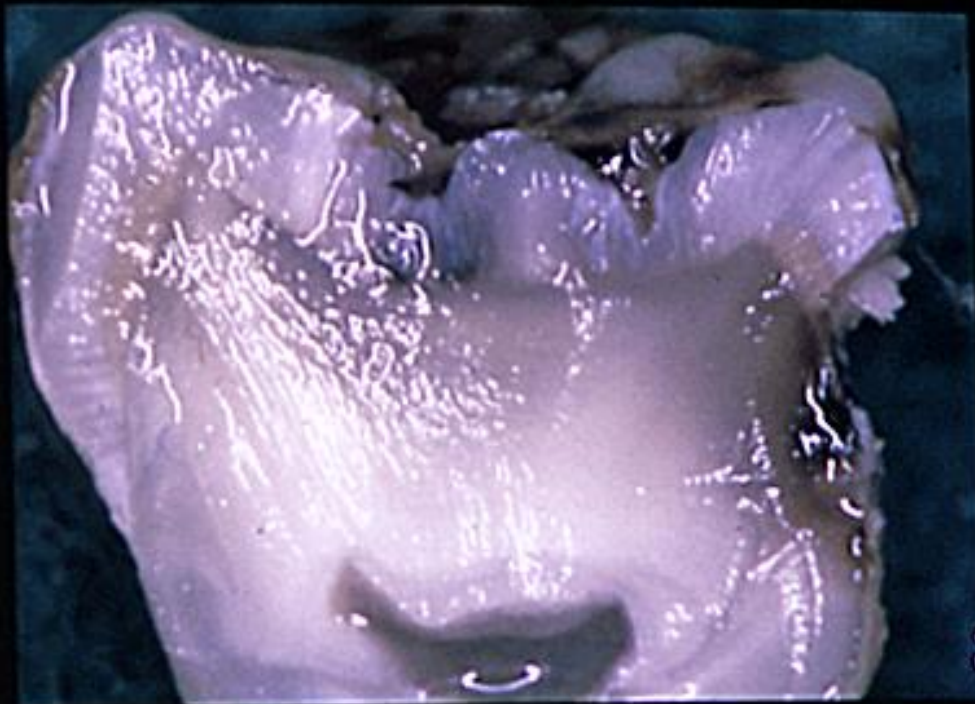
日本歯科保存学会
理事長 松尾 敬志

Dental plaque

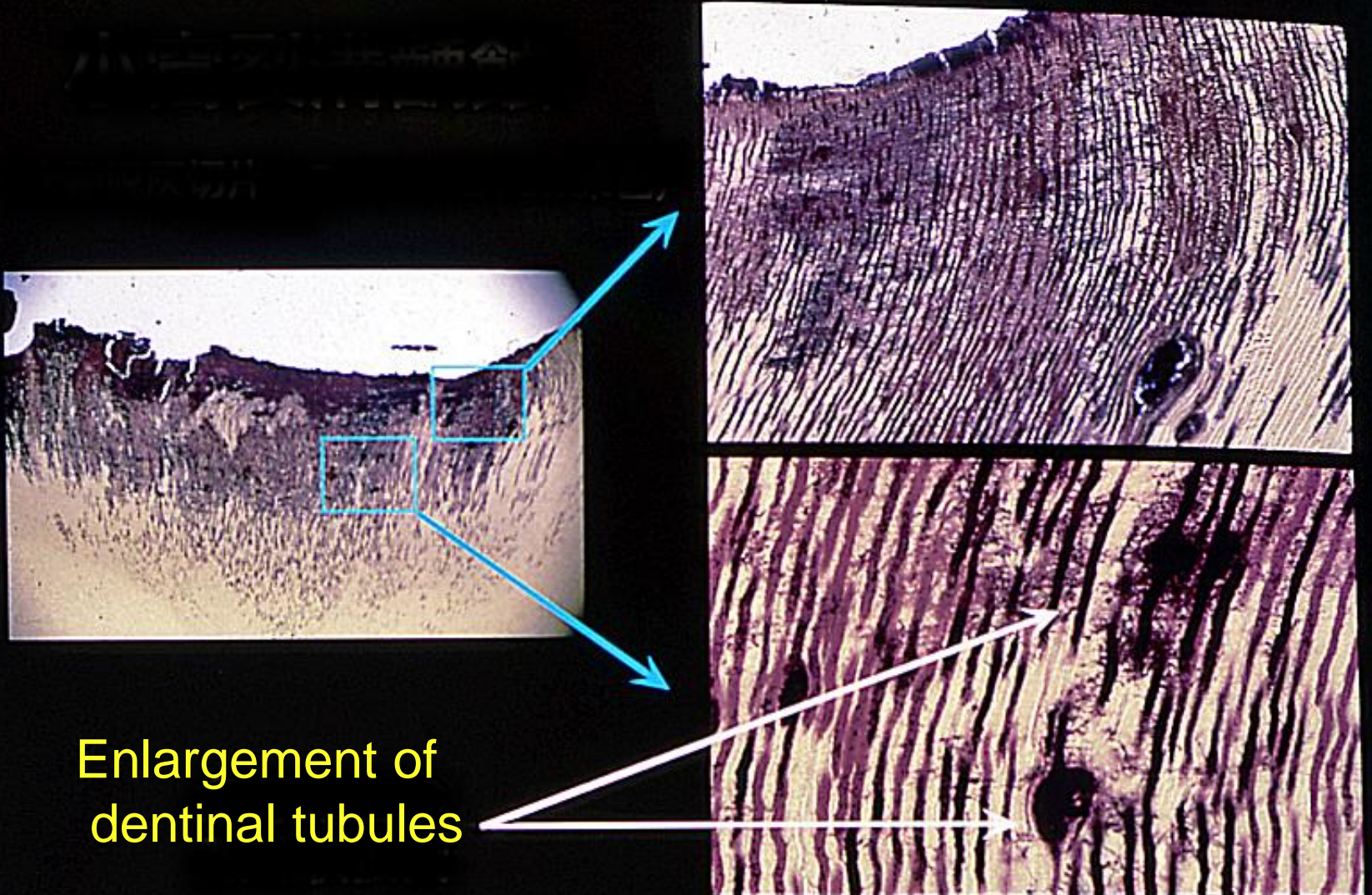


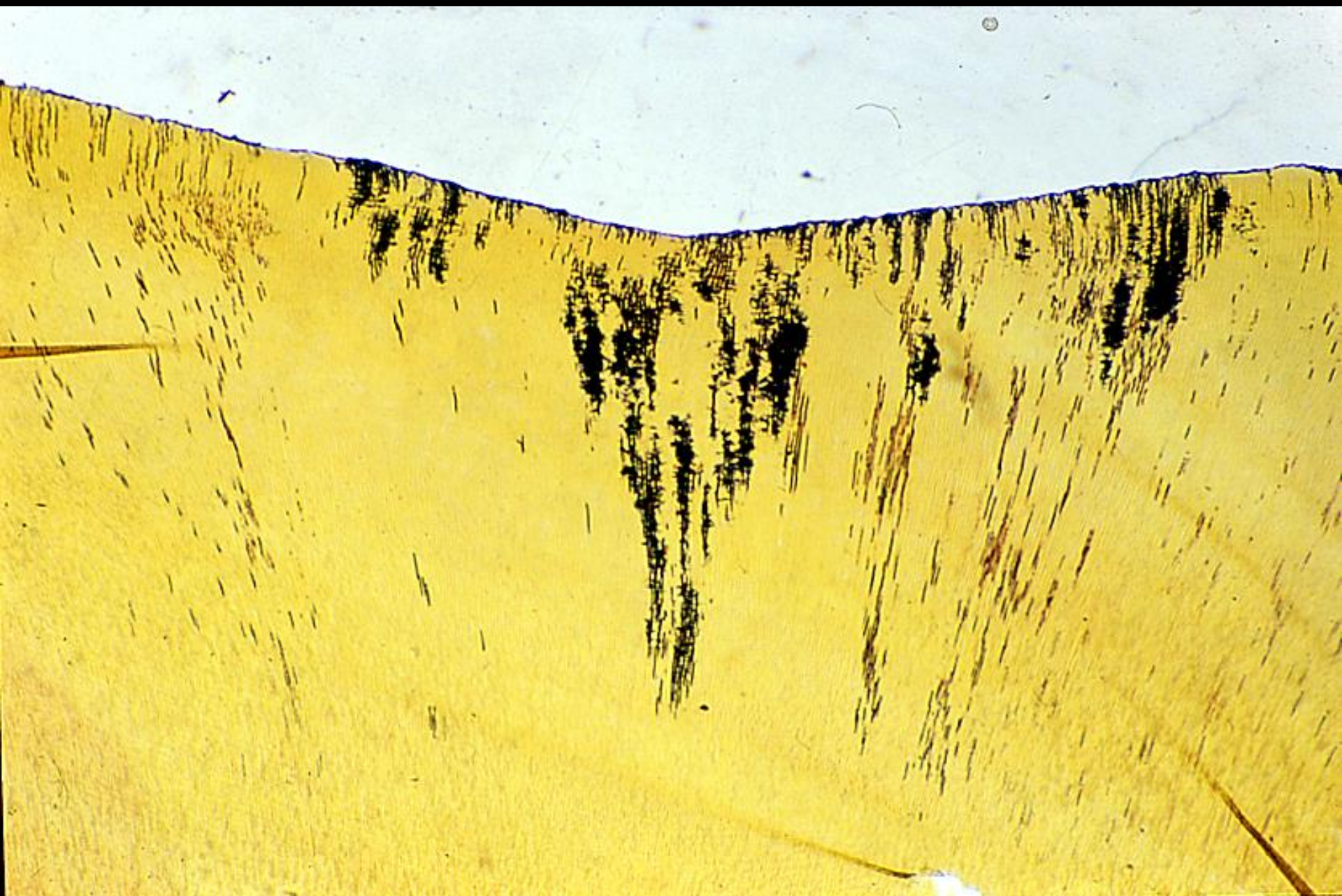


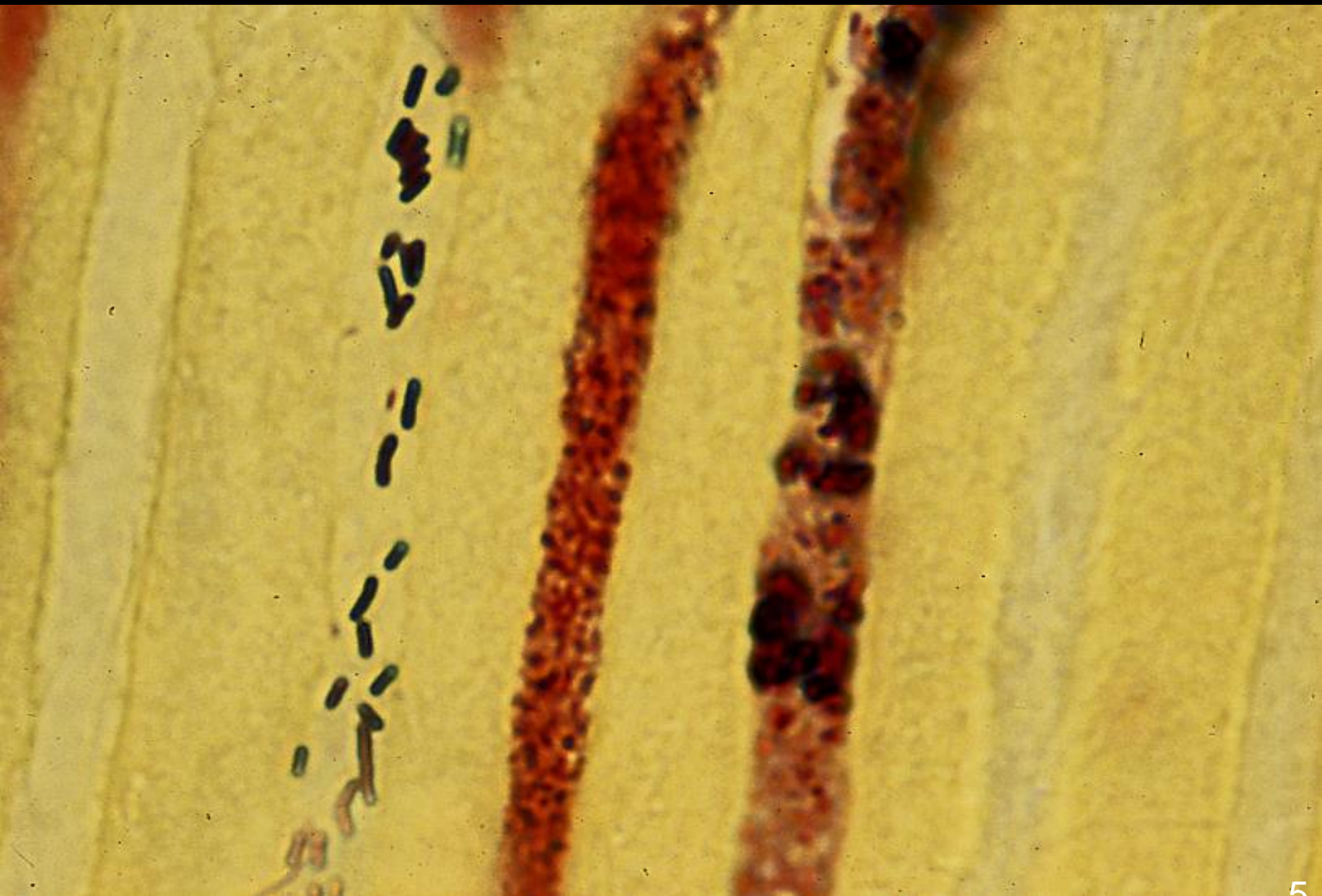
小窩裂溝面／平滑面齲蝕



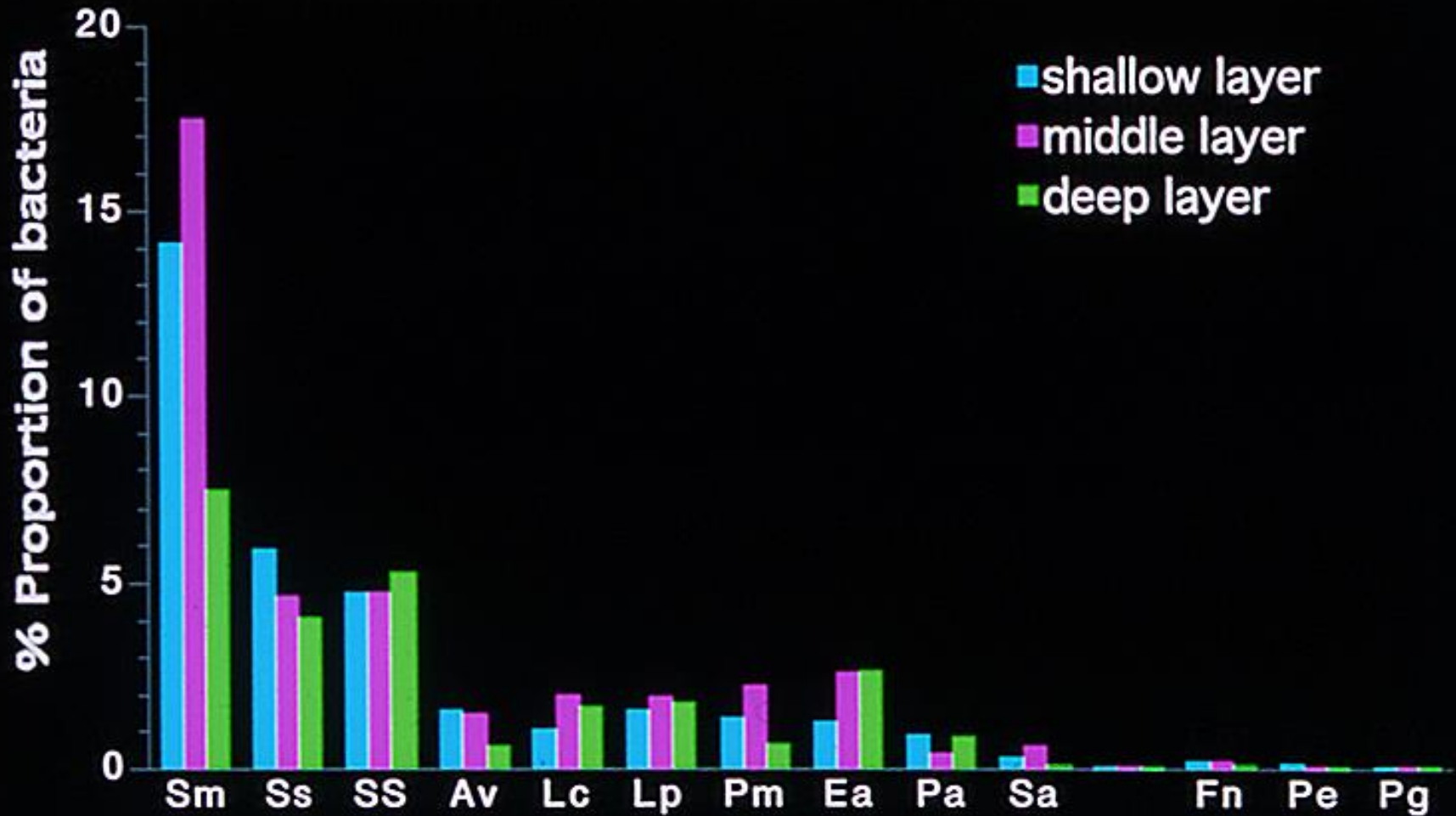
象牙質齲蝕







The proportion of bacteria in fissure caries



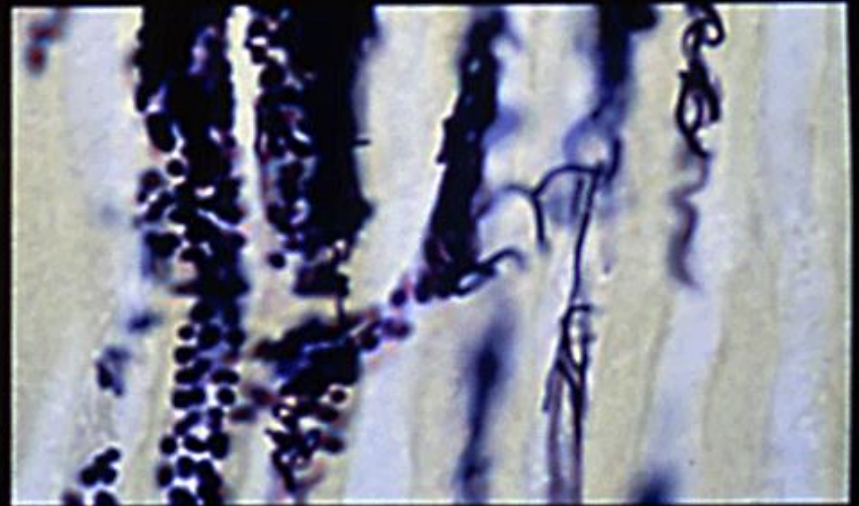
歯頸部齲蝕と根面齲蝕



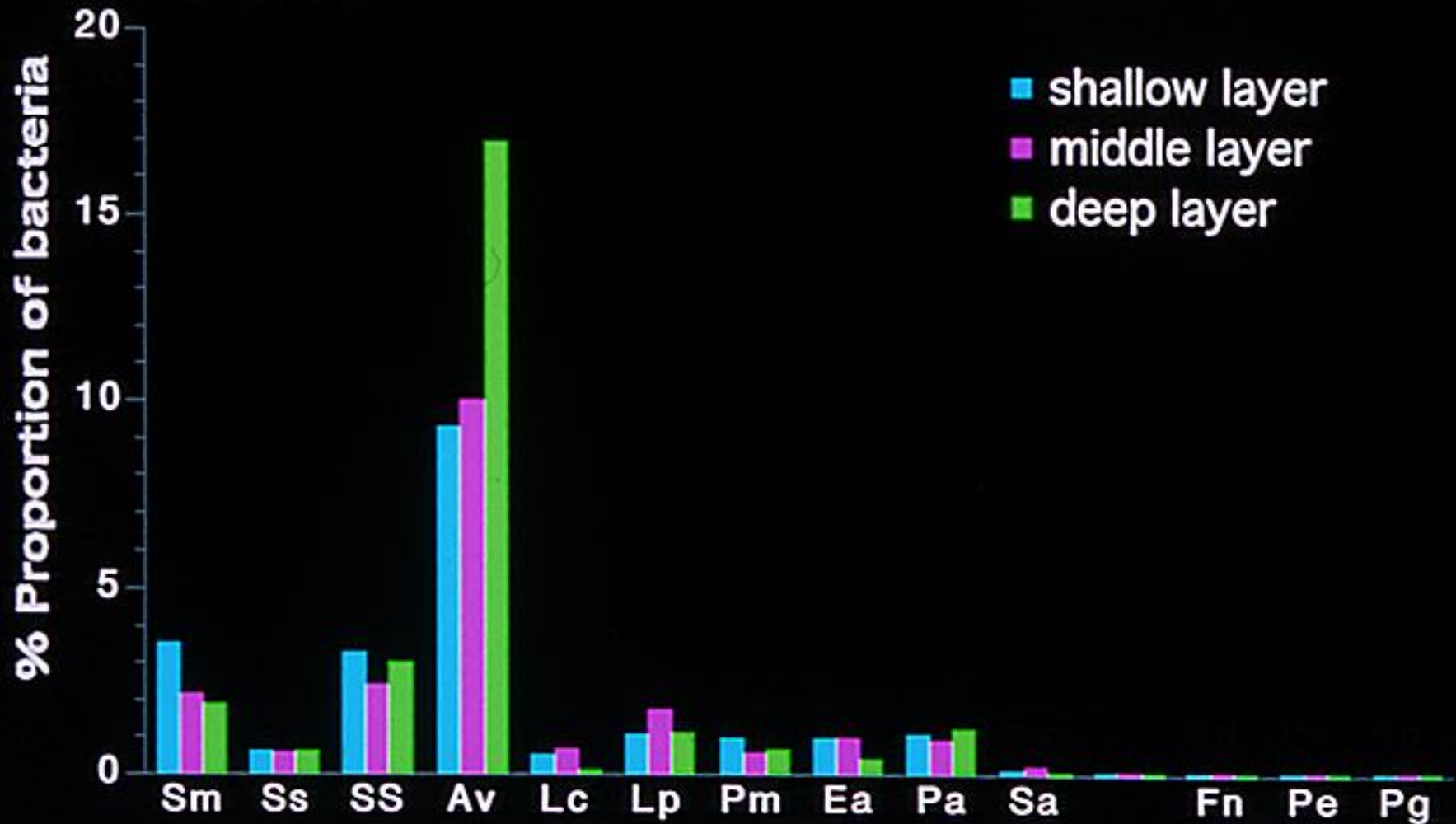
根面齲蝕



pulp



The proportion of bacteria in root caries



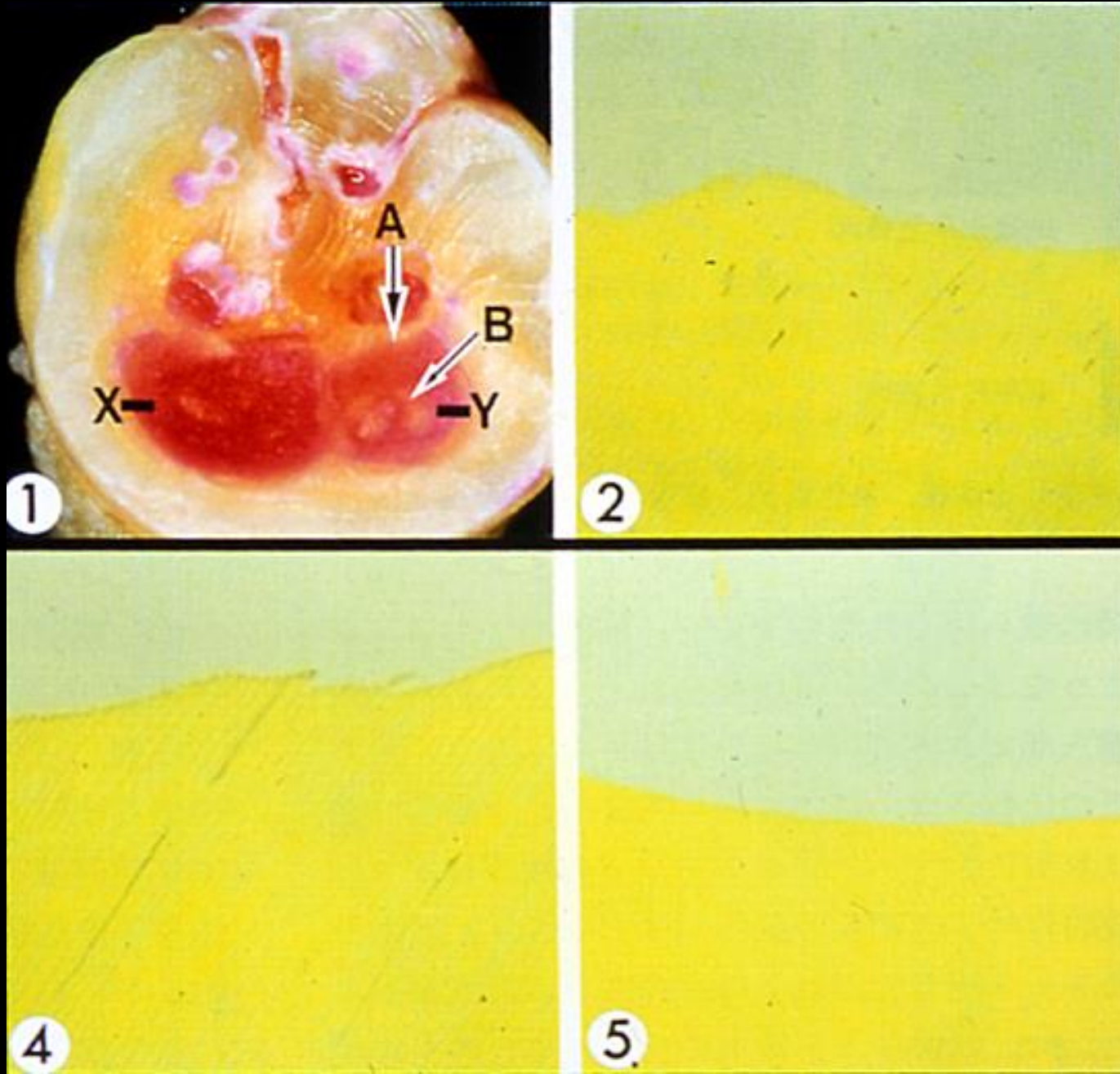
Where should caries be removed?

Removal of all the microorganisms in the lesion

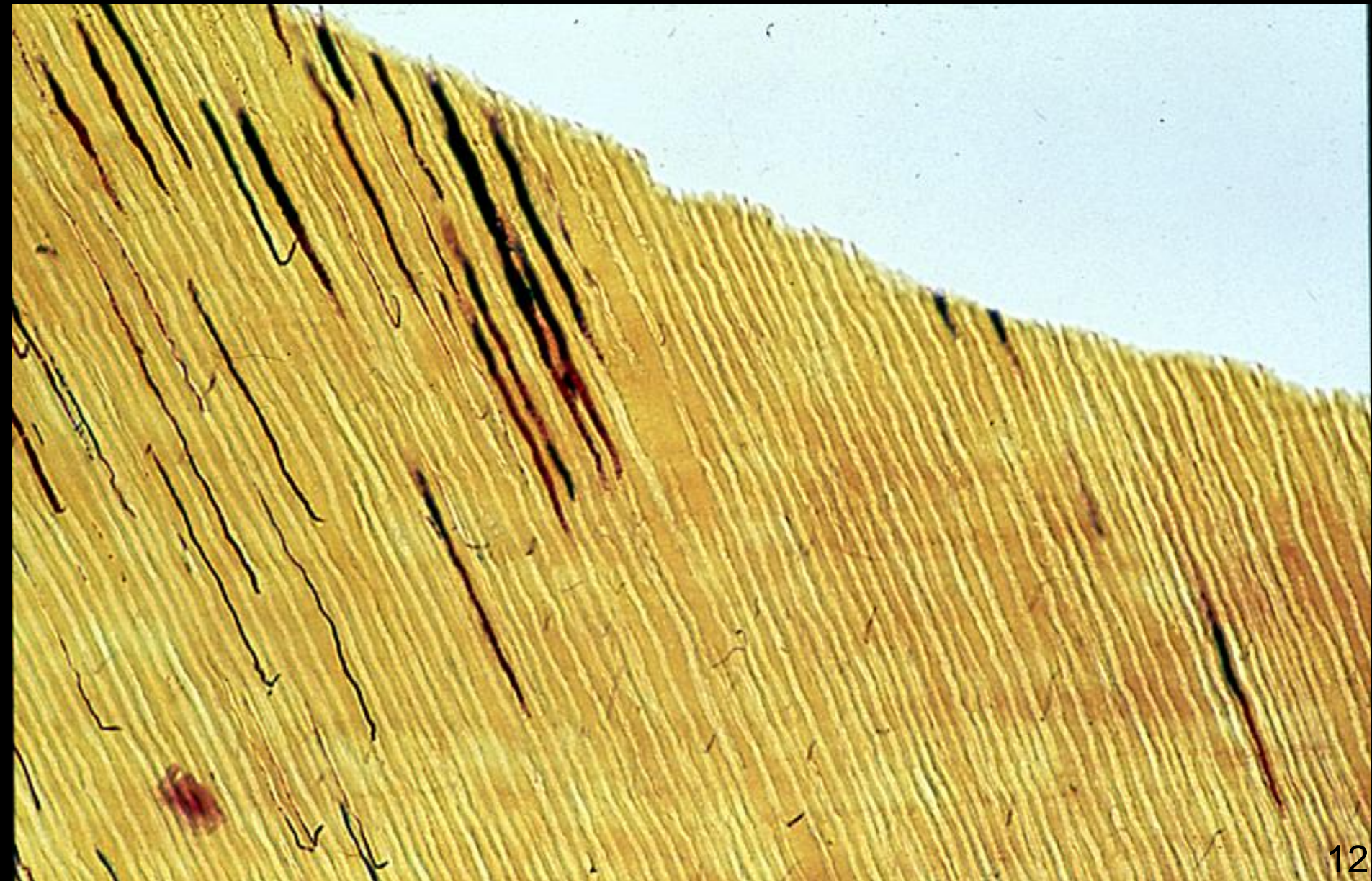
- Staining with dye
- Hardness or texture
- Sensitivity
- Pigmentation



Dye staining (caries detector)



Removal of staining dentin



むし歯の治療とは

むし歯の治療 **≠** 削ってつめる

感染症としての治療 **→** 削って細菌を取り除く

歯の機能を治す **→** 削ったところをつめる

(噛めるようにする)

Sealed Treatment of Caries (STOC)

う蝕の治療法 \neq 修復処置

- 細菌の侵入した象牙細管をレジンボンディングシステムで固め込み細菌を不動化する。
- レジンにトラップされず残った細菌も封じ込められて増殖できない。

Atraumatic Restorative Treatment (ART)

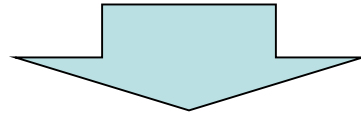
- 齲蝕をエキスカベータで可及的に除去しグラスアイオノマーセメント (Fuji IX) で充填する。
- 1980年代中ごろタンザニアで行われたのが最初。
- 成功率: 乳歯、1年後、タイ
単純窩洞で79%、複雑窩洞で55%
: 永久歯、3年後、ジンバブエ
単純窩洞で85%

今後のう蝕対策

人生100年時代を迎え、「できるだけ自分の歯を失わず一生を過ごせるよう患者に寄り添って、口の機能を保っていく」ことが歯科医師の役割である。

これまでの対応

う蝕については発症・進行機構、発症要因が明らかになり、これらを管理、制御することにより発症防ぎ、進行を抑制することが可能になってきた。学会としては、「う蝕治療ガイドライン」を作成・更新する等の対応を行ってきた。



今後の対応

超高齢社会のなか8020達成者率も向上し、歯が残ることにより、

- ・ 残存している歯の根面う蝕
- ・ Tooth Wear

等への対応が必要であり、実態把握や国民への普及啓発等が必要である。